

119番通報の ポイント

①火災・救急の別
「火事」なのか「救急」なのかを、
はっきりと伝えてください。
②場所
火災や急病人などが発生した場
所の住所を正確に伝えてくださ
い。また、目印となる建物など、
目標となる物を伝えてください。

③火災・事故などの状況
「〇階建てのビルの△階が火事
です」など、何が(誰が)どうし
たのかを、できるだけ正確に分
かりやすく伝えてください。
④通報者の氏名・連絡先
「私の名前は〇〇です。電話番号
は△△-××××です」とはっ

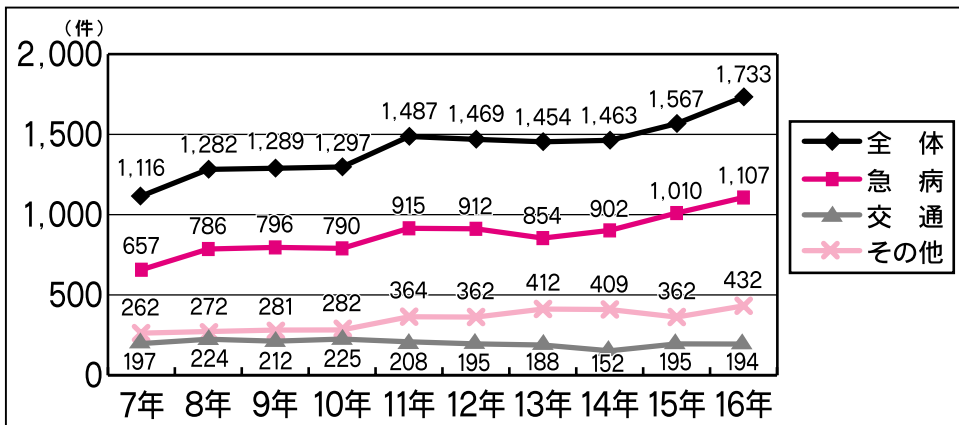
⑤携帯電話からの通報
携帯電話(PHS含む)からの通
報は、その旨を伝えてください。
通報後しばらくの間は、電話を
切らずに現場近くの安全な場所
で待機してください(再確認す
る場合があります)。

(表3)

過去10年間の救急出動の推移

(件)

	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
全 体	1,116	1,282	1,289	1,297	1,487	1,469	1,454	1,463	1,567	1,733
急 病	657	786	796	790	915	912	854	902	1,010	1,107
交 通	197	224	212	225	208	195	188	152	195	194
その他	262	272	281	282	364	362	412	409	362	432

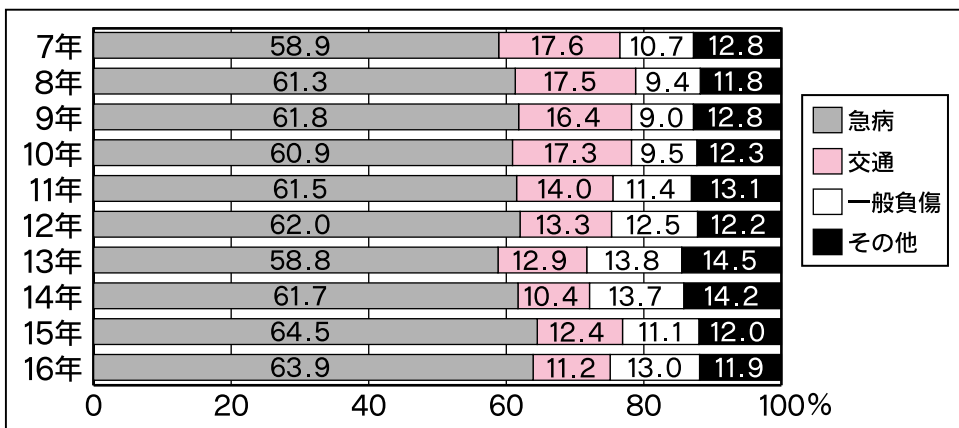


(表4)

過去10年間の事故種別出動件数構成比の推移

(%)

	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
急 病	58.9	61.3	61.8	60.9	61.5	62.0	58.8	61.7	64.5	63.9
交 通	17.6	17.5	16.4	17.3	14.0	13.3	12.9	10.4	12.4	11.2
一般負傷	10.7	9.4	9.0	9.5	11.4	12.5	13.8	13.7	11.1	13.0
その他	12.8	11.8	12.8	12.3	13.1	12.2	14.5	14.2	12.0	11.9



救急出動状況

内会や火災予防組合などと連携を取りながら防火意識を高め、火災件数の減少と、火災による死者数の減少に努めていきます。

平成16年中の本市での救急出動件数は1,733件(前年1,567件)、搬送人員は1,700人(前年1,526人)で、前年と比較すると、出動件数は166件増加し、搬送人員は174人増加しています(表3)。

また、出動理由を見てみると、急病が1,107件(前年1,010件)で、前年より97件の増加、一般負傷は225件(前年174件)で、前年より51件の増加、交通事故は194件(前年195件)で、前年より1件減少となっています(表4)。

普及啓発に努めます

広域消防本部では、今後も救急資器材の整備、高規格救急自動車の整備拡充及び救急救命士や救急隊員への教育の充実など救急業務の一層の充実を図ります。さらに、普通救命講習会、応急手当普及員養成講習会などを開催し、応急手当のより一層の普及啓発に努めていきます。